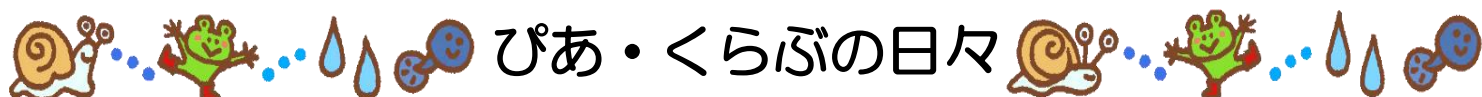




例年よりも1カ月早い梅雨入りで、今地球に何が起きているのだろうか・・・と考えてしまいます。コロナも依然として続いておりますが、見えないことを不安に思うだけでなく、身の回りのうれしい出来事や、目の前にある美しい景色に目を向けて、日々を大切に過ごしていきたいと思っています。



## ぴあ・くらぶの日々

年少から利用を始めているKくんは今年年長さんになりました。利用当初から集団療育を行ってきたのですが、定期的に気持ちが不安定になり涙が出たり「やりたくない」と意欲が出なくなるがありました。Kくんにきちんと自信をつけてあげたいと思い、お母さんと相談して年長からは個別療育に切り替えました。そうしたら毎回のぴあ・くらぶが楽しくなり、今では「次はいつ行くん？」と家で聞くほどになりました。

Kくんはラキューでコマを作るのが得意です。得意なことから経験を広げようと思い、いろんなコマの工作をしています。最初は「しない」と言っていたのですが今はこちらの提案に「やってみる！」と意欲的です。工作にもKくんなりの工夫が見られはじめたり、こうしたらいい、という気づきも出てきました。おしゃべりも増えて家での出来事を一生けん命、言葉をつないで教えてくれます。

個を大切に尊重できる個別療育は、子どもの力を引き出す出発点だと、Kくんを見ていて感じています。



## 活動の様子

### くらむぼん

4月当初はあまり活動に参加ができず、個別で過ごすことが多かったUくん。ですが、5月に入り、新聞紙を使った活動をしていた時、子どもたちの笑い声が気になり様子を見に来ました。

「一緒にやる？」と聞くと、「やる！」と言って輪の中に入り、みんなで楽しく活動をすることができました。

活動に参加ができたUくんも、参加がしやすい雰囲気を作ってくれた子どもたちにも、只々脱帽です。

### ぴあ・くらぶ

Hくんは工作が大好きでキューブパズルを作っています。それを見ていたSくん。学校の帰りの車の中からずっと「Hくんおる?」「パソコンで車見る」など、スタッフに訴えていました。「Hくんと同じパズルが作りたいんだ!」と気づいたスタッフ。その日から早速、Sくんのパズル作りが始まりました。子ども同士の刺激はこんなところにもあるんですね。

(Hくん作のパズル)

